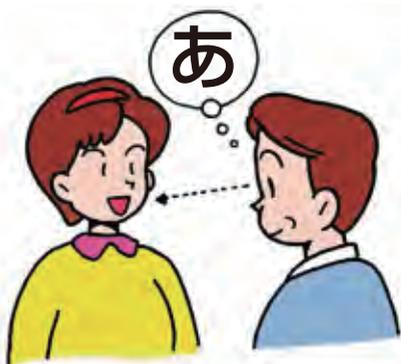


耳の不自由な人とともに

1 口話 (読話)

口話 (読話) は、自分から話し、相手の口の動きを読み取ることで意思を伝えあう方法です。相手が口話をしているときは、口の動きがわかるように正面からはっきり話してください。ただし、口話には限界がありますので注意してください。



2

手話

会話は音声言語ですが、手話は目で見てわかる視覚言語です。耳の不自由な人たちの間で自然に生まれ、発展してきたものです。ただし、耳の不自由な人すべてが手話をすることができるわけではありませんから注意してください。また、最近では、手話の講習会が開かれていますので、参加してみましよう。



3

筆談

筆談は、手のひらや紙に文字を書いて意思を伝えあう方法です。耳の不自由な人に話しかけられた場合には、気軽に筆談で応じてください。最近では筆談に便利な用具をはじめ、耳の不自由な人との会話を助けるためのさまざまな用具が開発されています。



4

病院や銀行などで

耳の不自由な人は、病院や銀行の窓口などで呼ばれても聞こえません。そのようなときは、手招きをしたり、肩をたたいたりして知らせてください。しん動で知らせる器具（しん動呼びだし機）や呼び出し用の電光けい示板を活用しましょう。



5

ものをたずねられたら

耳の不自由な人から何かものをたずねられたときは、手話ができなくても、筆談や身ぶり手ぶりでかまいませんから、こころよく答えましょう。



6

電話をたのまれたときは

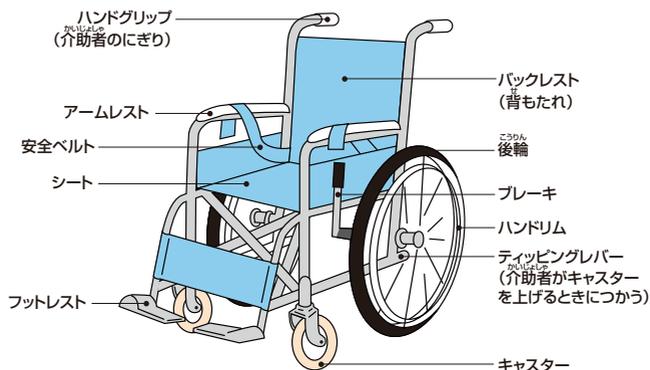
耳の不自由な人が電話をする必要ができたときは、近くにいる人にたのむことになります。たのまれたときはこころよく引き受けましょう。



手足の不自由な人とともに

〔車いすを使っている人とともに〕

1 車いすの構造 こうそう



2

車いすの折りたたみ方 お

- 1 ブレーキをかけ、フットレストを上げる。
- 2 シートを持ち上げる。
- 3 かんぜん完全に折りたたむ。

車いすのタイプによっては、折りたたみ方の違うものや折りたためないものもあります。



3

車いすに乗っている人をおかかえるときは の

車いすに乗っている人をおかかえるときは、どのようにおかえられた方がよいか聞きましょう。2人でおかえる代表的な例としては、まず、車いすのブレーキをかけ、りょう両わきから背中和ひざの下に腕を入れます。このときに、ひざの下に入れた腕は、足を片方ずつおかえる方法と、おかえる人がお互いに手首の上を握り合う方法があります。また、前と後ろから、おかえる方法もあります。



4

段差のあがりさがりは

段差をあがるには、まず、ティッピングレバーをふんで車いすのキャスターを上げ、段の上ののせます。次に、ハンドグリップを持ち上げて後輪を押し上げます。段差をさがるには、まず、車いすを後ろ向きにします。次に、後輪を下ろし、キャスターを上げ、車いすを後ろに引いてキャスターを下ろします。



5

溝をこえるときは

溝をこえるには、まず、車いすのキャスターを上げ、溝の向こう側に下ろします。次に、後輪を少し上げながら溝をこえます。溝ぶたを横切る時は、キャスターを上げるか、ななめに渡ります。



6

坂をおりるときは

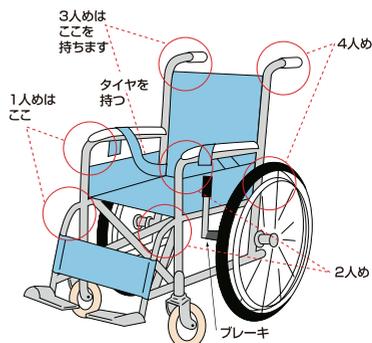
ゆるやかな下り坂では、前向きで、車いすを引くようにしております。急な下り坂では、後ろ向きでブレーキを軽くかけながらゆっくりとおります。下り坂を前向きにおりる場合、急ブレーキをかけると乗っている人が車いすからころげ落ちてしまうので注意しましょう。



7

かいだん
階段ののぼりおりは

車いすの人の階段ののぼりおりは4人で行うと安全です。まず、車いすのブレーキをかけます。次に、2人がそれぞれフットレストの付け根とアームレストの前部を持ち、残りの2人がハンドグリップとタイヤを持って車いすを持ち上げ、ゆっくり進みます。この場合、かいだん階段をのぼる場合には車いすを前向きに、階段をおりる場合には後ろ向きにします。



※タイヤを持つときは必ずブレーキをかけてください。

まつば
〔松葉づえを使っている人とともに〕

8 まつば
松葉づえの人がかいだん
階段をのぼるときには

うてか腕を貸せばのぼれる人、それではかえってのぼりづらい人などいろいろありますから、どうしたらよいか、よく聞いてからお手伝いしてください。



9

雨の日には

雨の日は、まつば松葉づえを使っている人が一番困る日です。かさはさせないし、足元はすべる危険があります。まつば松葉づえを使っている人にぶつからないようにしたり、かさをさしかけたりしてあげましょう。



高齢の人・妊婦・ことばの不自由な人などとともに

1

電車やバスの中で

高齢の人や妊婦などは、立ったままの姿勢でいることがつらいものです。電車やバスなどで高齢の人や妊婦、ヘルプマークを付けた人などが立っているのを見かけたら、「おかけになりますか。」と一声かけて席をゆずりましょう。



2

高齢の人に話しかけるときは

高齢になると音が聞こえにくくなる場合があります。音が聞こえにくくなっている人に話しかけるときは、大きく口を開いて、ゆっくり、はっきりと話しかけてください。



3

ことばの不自由な人の話を聞くときは

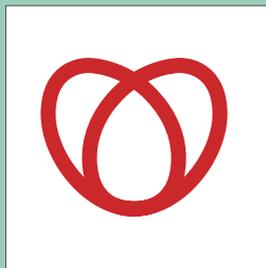
ことばの不自由な人の話を聞くときは、ことば一つ一つをきちんと聞き分け、どうしてもことばがわからない場合は、無理をしないで周りまわにいる大人を呼びましょう。



さがしてみよう！ このマーク



(宮城県適合マーク)



(バリアフリー法認定シンボルマーク)



(仙台市適合マーク)

これらのマークは、^{こうれい}高齢の人や^{しょうがい}障害のある人だけでなく、「だれもが^{りよう}利用しやすい施設」であることをお知らせするマークです。

編集

宮城県保健福祉部社会福祉課

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号

TEL.022-211-2519 FAX.022-211-2594 【E-mail】syahuku@pref.miyagi.lg.jp

ホームページアドレス <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syahuku/>



このパンフレットは、再生紙と植物油インキを使用しています。
この冊子は、40部作成し、一部あたりの印刷単価は680円です。